

## 専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	保健医療福祉部会
開催日時	平成28年 1月28日 19時00分 ~ 20時30分
開催会場	名寄市立大学 恵陵館 3階 235教室
出席委員	深井部会長、姉崎副部会長、稲場副部会長 石王委員、忍委員、尾針委員、中尾委員、西村委員
事務局 出席者	田邊部長、岡村部長、馬場室長、江尻園長、鈴木課長、廣嶋所長、佐々木課長 鯖戸係長、石橋課長、田上課長、柴野主幹、荒井課長、小野係長、渡辺主幹 土屋主幹、橋本主幹、沼田主幹、木村主査
審議事項	(1) 主要施策の現状と課題について（事務局よりそれぞれ説明） <ul style="list-style-type: none"><li>・健康の保持増進</li><li>・地域医療の充実</li><li>・国民健康保険</li><li>・子育て支援の推進</li><li>・地域福祉の推進</li><li>・高齢者福祉の充実</li><li>・障がい者福祉の推進</li></ul> (2) 今後の検討スケジュールについて（事務局より説明）

発言内容	■委員	別添説明資料により考え方の記載があるが、1次計画とさほど変更点が無いように見受けられる。2次計画では、計画期間の変更点、戦略盛り込むなど施策についてどのように考えているか。本日は施策の体系まで協議することになるのか。
	○事務局	本日は現状と課題のみを協議することとなり、体系については次回以降に検討していくことになる。そのことにより送付させていただいた説明資料では、修正点などが反映されていない。
	■委員	公立病院改革プランの記載があるが、平成32年度までとなっている。総合計画の策定においては、改革プランの方が先に策定されることもあり、平成28年6月策定、平成28年度から5カ年間で評価・検証と時期をしっかりと明記することが必要と考える。
	○事務局	了知
	■委員	国保の広域化によりどの程度自己負担していくことになるのか。
	○事務局	広域化は平成30年度に始まる。負担は納付金という形になるが、北海道から示されていない。おそらく激変緩和措置で緩やかに負担していくことになる。急激な上昇はないと考えている。
	■委員	現在は4区分となっている負担割合（国・北海道・市・受益者）は、どのような議論になっているのか。
	○事務局	市の基準にもバラつきがあり、個々の対応となると考える。全道一区という状態が将来的に望ましいとしているが、現段階で決定していない。
	■委員	健康マイレージ事業の効果はどのようになっているか。健康の増進につながっているか。事例はあるか。
	○事務局	受診率の向上や、健康意識の高揚を期待しながら平成27年度より実施しているが、すぐに何かにつながるということではなく、長いスパンで効果を見たいと考える。毎年検証する予定で、①知ってもらう②参加してもらうことが大事である。現段階では見える効果はない。
	■委員	マイレージポイントの活用方法は。他市町村のように何か良いものをもらえる制度づくりは。
	○事務局	ご指摘の件については、意識高揚の観点から実施しているが、今後取り入れることも視野に検討したい。他市町村では市民に還元しているところもある。
	■委員	データヘルス計画とはどのようなものか。
	○事務局	国や道内市町村との比較を実施し、弱い点を解消しようと計画するもの。

	<p>■委員 大学学長予定者や加藤市長からも病院と大学の連携を図ると公言されているが、計画の中に盛り込まれていないがいかがなものか。</p> <p>○事務局 説明資料の中には盛り込まれていないが、資料：1次検証の推進状況（冊子）では35ページ次期計画に向けた課題の中で少々触れている。看護師不足が続いているが、ある程度確保のための事業も実施されていると考えており、また、大学と合同でまとめた「看護師確保等に関する報告書」などの方策に基づきながら今後実施されることになる。大学オープンキャンパスでは保護者に病院を見学してもらっており、大学と病院をともにPRしている。</p> <p>■委員 経営効率化では、病院と福祉サービスとの連携が必要ではないか。福祉とのネットワークづくりや地域資源について検討する必要がある。</p> <p>○事務局 了知</p> <p>■委員 新名寄市病院事業改革プランの中では4つの柱がはっきり記載されているので、福祉とも相互に連携し、総合計画の中でも柱をしっかり記載していただきたい。</p> <p>○事務局 了知</p> <p>■委員 子育て支援と保健センターの母子支援について、計画の中ではつながりが見えない。わかりやすく記載していただきたい。</p> <p>○事務局 了知</p> <p>■委員 施策の体系では、幼保一体化の検討となっているが、何が検討されるのか。風連では、保育園も幼稚園も融通を利かして今まで対応できていたが、昨年度と今年度の対応では違いがある。市で何かしたのか。</p> <p>○事務局 1次総合計画を策定した段階では検討していたので検討としたが、現在は推進している状況。平成27年4月に子ども・子育て支援法が施行し、認定こども園を希望する幼稚園があれば、増加することになる。風連での例がでたが、その判断は経営側の判断となり、現況できていたことができなくなっている。</p> <p>■委員 高齢者が75歳以上とあったものが65歳以上変わった。どのような見通しがあったのか。</p> <p>○事務局 高齢者人口は平成27年の段階では30.4%であり、全体像から見ても高齢化率が上昇している。そのよう中で今後も増加が考えられ、標記を変更した。</p>
決定事項等	<p>○上記内容を反映し、施策の体系について検討する。</p> <p>○今後の部会開催のスケジュールについては、3月に開催し、施策の体系について協議したいと考える。時間は18時半からで3月には2度ほど開催する。</p>